

実演資料「オムツ交換場面の手指衛生」

利用者の設定	状況設定	（参考）手指衛生の5つのタイミング
※利用者に見立てた人形を使用 90歳 女性 要介護4 自力で寝返り可 ベッド上の生活 意思疎通可、尿意あり 認知症はあるが、協力動作は得られる	場所：利用者の居室（個室） 尿失禁した利用者の尿取りパットの交換と、陰部清拭を温タオルで行う ※施設により尿失禁時の対応は様々 陰部洗浄、陰部清拭、パット交換のみなどの場合が考えられるが、今回は上記設定にし、手指衛生の5つのタイミングを実演（全体の終了後に手洗いで終了）	1 利用者に触れる前 2 清潔・無菌操作の前 3 体液に触れた可能性がある場合 4 利用者に触れた後 5 利用者周辺の物品に触れた後

行動	手指衛生の理由	環境の区分	
準備			
手指衛生		共有エリア	
① 必要物品を準備をする ② 居室のドアを開けて閉める	2. 清潔操作の前 (物品の汚染を防ぐ)		
手指衛生		利用者ゾーン	
③ 個人防護具（マスク、ディスポエプロン、手袋）の着用を行う ※マスクは常時着用している施設が多い現状	1. 利用者に触れる前 (介助者の手からの感染防止) 2. 清潔操作（個人防護具）の前 (個人防護具の汚染を防ぐ)		
オムツ交換・陰部清拭			
④ 利用者の掛け物を外す 汚物を入れられるようごみ袋の口を開き、利用者の足元に設置する 使い捨て温タオルはすぐ使えるよう、袋を開けておく			
⑤ 利用者に腰を上げてもらうよう声掛けする			
⑥ パジャマのズボンを膝まで下げ、開閉式オムツ・尿取りパットを開く			
⑦ 尿取りパットのみ汚れているため、汚れた尿取りパットを外し、ごみ袋に入れる			
⑧ 使い捨ての温タオルで陰部と臀部を清拭し、使用した使い捨て温タオルと手袋をごみ袋へ捨てる			
手指衛生	3. 体液（排泄物）に触れた可能性がある場合 (利用者自身の病原体から職員と利用者ゾーンを守る)	利用者ゾーン	
⑨ 新しい手袋をつける ⑩ 利用者に腰上げしてもらい、新しい尿取りパットをつける ⑪ 利用者に横向きをしてもらい、しづやずれがないか確認する ⑫ 尿取りパット、開閉式おむつの順に閉じる ⑬ パジャマのズボンを上げる ⑭ 足元に設置していたごみ袋をベッドの端に動かし、利用者に掛け物をかける ⑮ 手袋を外し、ごみ袋へ入れる			
手指衛生	4. 利用者に触れた後 (利用者自身から職員と共有エリアを守る) ※手袋を外した直後に手指衛生		
⑯ 続いてディスポエプロンを外しごみ袋へ入れ、袋の口を縛りワゴンのゴミ袋に入れる			
手指衛生		共有エリア	
⑰ ドアを開けて閉め、ワゴンを押し退室する			
片付け			
⑱ ごみ袋を汚物室に廃棄する			
手指衛生（流水手洗い）	一連の作業終了後		

